

【鳴門市行政評価】  
平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	「ため池ハザードマップ」作成事業		担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市地域防災計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 27 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なる			終期
(小項目)		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	1	危機管理・防災意識の高揚			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 全市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	災害による被害を予測し、非常時に安全かつ的確な避難行動が行えるよう、住民一人一人の防災意識を高める。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	市内のため池が地震等により決壊した場合の被害の範囲や、避難行動のとり方等を示した「ため池ハザードマップ」の作成。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		ため池ハザードマップの作成	HM①作成・公表	HM①印刷・配布、HM②作成・公表	HM②印刷・配布			

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	27年度に市内8カ所のため池を対象に作成した「ため池ハザードマップ」を印刷・配布するとともに、新たに市内13カ所のため池を対象に「ため池ハザードマップ」を作成し、市公式ウェブサイトにて公表した。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ハザードマップ周知	○	○			
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	ため池ハザードマップの作成		HM①作成・公表	HM①印刷・配布、HM②作成・公表	-	-	-
	目標達成率(実績/目標)			-	-	-	-
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり		

(千円)

財源内訳	平成28年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額	0	4,000	0	0	7,302	11,302	
		補正予算額	0	4,000	0	0	△ 4,000	0	
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0	
		全体予算額	0	8,000	0	0	3,302	11,302	
		決算額	0	8,000	0	0	1,675	9,675	
		繰越額	0	0	0	0	0	0	
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費		
	0.2	0.0	1,427	11,102					

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	12,256	9,675	1,381		
	うち一般財源	6,256	1,675	0		
	人件費	1,372	1,427	0		
	総事業費	13,628	11,102	1,381		

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		前年度「ため池ハザードマップ」の作成にあたり、カラーユニバーサルデザインの認証を取得し、色覚の個人差を問わず情報を得られるよう配慮した。また、28年度作成のマップは、作成過程で住民説明会を開催するとともに、作成後は市公式ウェブサイト等で周知を図り、地域の方にため池の危険性等について関心を持ってもらうことができた。
	効率性	A:効率的だった		カラーユニバーサルデザインについての知識を有する団体に業務を委託し、認証取得に向けて効率的にデザインの検討を行った。
②成果に対する評価	指標名	ため池ハザードマップの作成		ハザードマップ作成の目的である地域の危険性の把握と、災害時にとるべき行動の周知等を図ることができた。
	目標	HM①印刷・配布、HM②作成・公表	-	
	実績	HM①印刷・配布、HM②作成・公表	-	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		前年度「ため池ハザードマップ」の作成にあたり、カラーユニバーサルデザインの認証を取得し、情報が誰にでも伝わりやすいよう工夫できた。また、28年度に作成したマップは、作成過程で住民説明会を開催するとともに、作成後は市公式ウェブサイト等で周知を図り、地域の方にため池の危険性等について関心を持ってもらうことができた。以上のことからA評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	28年度に作成した13池のハザードマップについても、今後カラーユニバーサルデザインの認証を取得した上で、印刷・配布する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	28年度に作成した13池のため池ハザードマップについても、カラーユニバーサルデザインの認証を取得し、印刷・配布する。			
	H30年度				